

# CNニュースレター

2021年8月発行

Vol.10

## ○摂食嚥下認定看護師の紹介○

7B病棟の小田原仁美です。  
摂食嚥下認定看護師になり、  
8か月が経過しました。



普段は7B 病棟で勤務しております。

私たちは、普段意識していなくても食べ物を目で見て、匂いで認識し、食べ物を口まで運び、かみ砕き、「ごっくん」と飲み込むことで食べ物や液体を摂取しています。その一連の動作が、脳卒中やパーキンソン病、などの神経や筋肉の病気、あるいは舌などに出来た癌が原因により障害されることで生じる障害を「摂食嚥下障害」と言います。

摂食嚥下障害で生じる問題として、肺炎、窒息、低栄養、脱水など生命に直結する深刻なことばかりです。口から食べることは、体にとって栄養をとるだけの目的ではなく、愛する人、親しい人と食べる楽しみの一つでもあります。その楽しみを失ってしまうことで生活の質にも影響を与えます。摂食嚥下障害にならないように予防に努め、なった際は、少しでも悪化しないように介入していくことが目標です。



## 【認定看護師（CN：certified Nurse）とは】

公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有することが認められた看護師のことを言います。



### 【認定看護師の役割】

- ＊ 指導：  
看護実践を通して看護職に対し指導を行う
- ＊ 相談：  
看護職等に対しコンサルテーションを行う
- ＊ 実践：  
個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践する

### 【摂食嚥下認定看護師の役割】

- ・栄養サポートチーム活動に貢献
- ・摂食嚥下認定看護師や病棟スタッフ等による、摂食機能療法などの診療報酬の算定
- ・摂食嚥下障害を有する患者さんの嚥下評価や食事介助
- ・病棟スタッフへの口腔ケア方法、食事介助の体位調整などの教育
- ・摂食嚥下機能の評価および誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水予防

## 認定看護師会からのお知らせ

### むせない誤嚥は、危険なサイン！！

「むせる」とは、異物を外に出そうとする正常な反応です。しかし、咳反射が起こらないまま誤嚥していることもあります。誤嚥性肺炎の症状は、発熱やだるさなど風邪の症状と似ていると言われています。

○食事の後の声がこもっていたり、

ガラガラ越えになる

○痰の量が増えていたり、痰の色が

黄色の色をしている

○呼吸が苦しそうなど

誤嚥性肺炎を疑わしい症状です。

☆ニュースレターは、年6回の発行を予定しております。認定看護師の院内外の活動を紹介していく予定です。

☆千葉徳洲会病院では6分野の認定看護師が活動しています。（感染管理・皮膚排泄ケア・緩和ケア・がん化学療法看護・認知症看護・摂食嚥下）

☆千葉徳洲会病院での医療講演も随時行っています。院外での研修会や勉強会に出向くことも可能です。

お気軽にお問合わせください。

問い合わせ窓口：友の会まで

